

# 学校評価

# IVY大分高度コンピュータ専門学校

## 《令和2年度 学校関係者評価》

## まとめ

令和3年6月 実施

対象期間(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

項目	自己評価	適/不適	評価	評価に係る提言・今後の改善等
(1)教育理念・目標	4.0	適切	学校の理念・目的・育成人材像、職業教育の特性が明確であり、社会経済のニーズを踏まえた将来構想を持っている。 これまでの専門委員会に参加し、貴校の取り組みを拝見してきましたが、理念・目標は一貫しており、教職員の方々の行動にも浸透していると感じます。 開校以来の目標を、一貫して継続できていると感じます。特に生徒の意向を引き出すための、度量の広い校風は理念と合致していると思います。	理念・目標・育成人材像を学生・保護者にさらに浸透させてほしい。業界のニーズとの結びつきも確実に伝えてほしい。 生徒自身が自分の意向を見つける取り組みや、主体性の育成も必要な時代ではないかと思えます。
(2)学校運営	4.0	適切	運営組織や意思決定機能が明確化されていて有効に機能している。 パンデミックによる環境変化にも迅速かつ柔軟に対応し、教育課程に影響を及ぼすことなく学校運営が出来ていると思います。 時代のニーズを探りながら、新しい取り組みを積極的に試み、常に変わり続ける柔軟性を感じます。	業務の効率化をさらに努力してほしい。 業界との連携にさらに力を入れてほしい。 教職員のスキルアップに取り組まれています、その効果、成果もHP等で一般に見える形で示しては如何でしょうか。 変化のスピードが速いだけに、「変わらない学校運営の軸」を再明示することで、組織の一体感が生まれると思います。
(3)教育活動	3.8	適切	教育理念に沿った教育課程の実施、カリキュラム教育の実施、資格取得の努力などがされている。 他業界団体との協力関係を築くことで新たな学科の設置や、新たなカリキュラムの導入に発展されたことは、学生も選択肢が広がり、よい相乗効果と思われます。 資格取得を中心とした体系化されたカリキュラムは、安定した就職率という成果を生み出す大きな要因だと感じます。また各講師の授業への裁量が大きいいため、創意工夫を凝らした内容で取り組むことが出来ています。	教職員の研修機会をさらに設けてほしい。 インターンシップをさらに拡張してほしい。 教職員の研修の一環として企業との交流も積極的に行っては如何でしょうか。 実践的で専門的な職業教育は、今後さらに重要になると思えます。企業や公的機関との連携をさらに積極的に進めることで、変化の速い社会のニーズが把握できるのではないのでしょうか。

(4)学修成果	4.0	適切	就職・資格取得に力を入れ、その成果をあげている。高い就職率・資格試験の合格率を維持しているのは貴校の教育理念に基づいた成果と思われます。新型コロナウイルス禍の社会の変化に対応するために、生徒の特性が生きる就職を教職員全体で熱心に取り組んでいるように感じます。	卒業後の活動把握にさらに努力してほしい。卒業生とのつながりを検討してほしい。卒業後も学校との結びつきは持っていてほしいですね。
(5)学生支援	4.0	適切	進路就職に対する支援体制、学生の経済面・健康面の支援体制が十分なされている。学生の健康管理に配慮した体制、素晴らしい取り組みです。多様化した生徒を受け入れる環境を、整備し続けていると思います。	学生の生活環境・卒業後の支援などへさらに努力してほしい。転職時の再就職支援にも関わってほしいですね。学生自身が客観的に自分の特性を確認できる取り組みがあると進路の選択も行い易いのではないのでしょうか。
(6)教育環境	3.7	適切	施設・設備が十分整備されている。教育環境は十分整備されています。既存の教育設備は十分に充実していると思いますが、リモートでの教育環境整備が遅れていないでしょうか。	学内外の研修にも引き続き力を入れてほしい。ICT機器を活用したリモートワークは、昨年一年で急速に普及しました。今年度は義務教育の現場でも導入が急速に進んでいます。環境と体制の整備が必要ではないのでしょうか。
(7)学生の受入れ募集	4.0	適切	学生募集に力を入れている。広報も十分である。体験入学、オープンキャンパスは積極的に開催されている印象。学生の進路希望とミスマッチとにならない取り組み評価します。積極的に早い時期からの、定期的な体験入学やオープンキャンパスは入学希望者とのミスマッチを減らしていると思います。	学外の組織との連携や地域社会への広報にさらに力を入れてほしい。クリエイティブなジャンルの学科は、時代のニーズによって大きく変化していますが、新設されたゲーム学科の卒業後の進路に興味を感じます。
(8)財務	4.0	適切	適切に行われています。	
(9)法令等の遵守	4.0	適切	適切に行われています。	

(10)社会貢献・地域貢献	4.0	適切	<p>十分に行われています。 社会貢献の意義を理解し、積極的にボランティアに参加されている学生は、社会に出ても勤労意欲が強いように感じます。 新型コロナウイルス禍では、積極的な集団活動への参加は難しいと思いますが、臨機応変に対応できているのではないかと思います。</p>	<p>さらに広い地域貢献・社会貢献に力を入れてほしい。定期的に発行されている「あいびータイムズ」を積極的に広報活動に利用されては如何でしょうか。各種の貢献活動は、とても意義のある取り組みなので積極的な情報発信が可能になると思います。そのための取材を生徒に依頼することも良いのではないのでしょうか。</p>
(11)国際交流	— —	— —	— —	

<平均> 4.0

